りゅうぎんビジネスクラブ

各種講演会、セミナーを開催
竹中平蔵氏講演会「今後の改革と日本の将来」
藤原正彦氏講演会「国家の品格」

みずほ総合研究所上席主任
コンサルタントの堂本　隆氏

藤原　正彦氏
「国家の品格」著者

竹中平蔵慶応義塾大学教授
（前総務大臣）

りゅうぎんビジネスクラブ（代表 大城頭取）は、琉球銀行の主要なお取引先にさまざまなサービスを提供することで、お取引先の経営をサポートしています。

二〇〇七年五月の会員数は六百五十社を超え、りゅうぎんのネットワークを生かした会員間の交流やビジネスマッチングも魅力のひとつとなっています。さらに、会員を対象とした各種講演会も充実しています。

二〇〇六年十二月には、トップセミナーとして前総務大臣の竹中平蔵慶応義塾大学教授を招き「今後の改革と日本の将来」と題した講演を開催しました。

二〇〇七年二月には、みずほコーポレート銀行顧問の菅野真一郎氏を招き「最近の中国ビジネス事情」、さらに、ASG税理士法人佐藤陽一郎理事長を招き「ケーススタディ・事業継承 円滑な事業継承のために」と題したセミナー、四月には、ミリオンセラーの著者でもある数学者藤原正彦氏によるトップセミナー「国家の品格」を開催しました。

また五月には、みずほ総合研究所 上席主任コンサルタントの堂本隆氏を招き「経営者のための会社法のポイント」と題したセミナーを開催しました。

ビジネスクラブ会員には、こうした各種講演会への無料参加特典もあります。ご興味のある方は、お近くの琉球銀行窓口もしくは、りゅうぎんビジネスクラブ事務局（電話０９８-８６０-３８１７）にお問い合わせください。

企業支援部 企業の経営改善支援 成功事例紹介

【県内流通チェーン店の事例】

A社は、事業の多角化を目的に、本業外のCD・ビデオレンタル、書籍の販売等を手掛けたものの、多角化戦略が企業体力を超えていたことに加え、近隣店舗との競争激化などにより多額の不良債権を抱えました。そのため資金繰りにも窮する状態となり、抜本的な経営改善に着手することになりました。

同社の本業収益は順調に推移していることから、広い店舗網を有する強みを生かし、本業への注力を前提に、①年間借入返済額をキャッシュフローの範囲内まで抑える貸出条件の見直し②五年程度での債務超過解消③経営管理体制の強化等を目標として掲げ、スポンサーによる資金支援および経営陣の刷新を含む経営計画を作成しました。計画策定にあたっては、当行スタッフも財務シミュレーションを実施するなど積極的に支援しました。

現在は、経営計画に掲げた各種施策およびM&Aの実施により、年間返済額をほぼキャッシュフロー内に抑えることが可能となり、資金繰りは安定しつつあります。今後は、新規店舗の出店、物流網の効率化によるサービスの拡充を図り、売上増加を目指していきます。

【お問い合わせ】
琉球銀行 企業支援部
経営支援課
電話
０９８－８６０－３４４４

■経営改善支援の取り組み実績

2006年度[2006年4月～2007年3月]

単位：先数

債務者区分		期初債務者数	経営改善支援取り組み先	期末に債務者区分が上昇した件数
正常先		8,403	29	
要注意先	うちその他要注意先	1,246	205	16
要注意先	うち要管理先	99	32	4
破綻懸念先		243	38	4
実質破綻先		334	0	0
破綻先		70	0	0
合計		10,395	304	24

■債務者区分の定義

正常先：
業況良好で財務内容にも特段の問題がないと認められる先

要注意先：
今後の管理に注意を要する先

要管理先：
要注意先のうち3カ月以上の延滞または貸出条件を緩和しており今後の管理に注意を要する先

破綻懸念先：
今後経営破綻に陥る可能性が高いと判断される先

実質破綻先：
法的、形式的な経営破綻の事実は発生していないものの、実質的に経営破綻に陥っている先

破綻先：
法的、形式的な経営破綻の事実が発生している先